



TOYAMA
Prefectural
University

公立大学法人富山県立大学

事務局経営企画課

担当：総務係 正川

電話：0766-56-7500（内線）215

News Release

平成 29 年 4 月 11 日

富山県立大学教員の「平成 29 年度科学技術分野の 文部科学大臣表彰若手科学者賞」受賞について

本学の古澤 之裕講師が「エピゲノム修飾による腸管制御性 T 細胞誘導制御の研究」の功績で「平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞」を受賞する運びとなりましたのでご案内いたします。

1. 「科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞」

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として科学技術分野の文部科学大臣表彰を行っている。

若手科学者賞は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた 40 歳未満の若手研究者個人を対象としている。

（平成 29 年度受賞件数：99 件）

2. 受賞者のプロフィール

ふるさわ ゆきひろ
古澤 之裕

(34) 公立大学法人富山県立大学工学部教養教育生物学教室 講師

3. 受賞業績：「エピゲノム修飾による腸管制御性 T 細胞誘導制御の研究」

免疫恒常性維持に関わる制御性 T 細胞の破綻は、大腸炎やアレルギー等の疾患と関与する事が知られている。腸内細菌の定着は、腸管の制御性 T 細胞を誘導し、腸管免疫の恒常性の維持に関与することが知られていたが、その分子機構については不明な点が多い。

受賞者は、腸内細菌が酪酸を産生する事で、T 細胞のヒストンタンパクの化学修飾を促し、制御性 T 細胞を誘導する事を発見した。また、腸内細菌は、T 細胞の DNA の化学修飾因子の発現も促し、制御性 T 細胞を誘導する事を発見した。

本研究成果は、腸内細菌による制御性 T 細胞の誘導機構を、エピゲノム修飾（ヒストン・DNA の化学修飾による遺伝子発現調節機構）の観点から初めて明らかにしたものであり、現在先進国で増加の一途を辿る炎症性腸疾患の治療に役立つと期待される。

4. 表彰式の日程

日 時 平成 29 年 4 月 19 日（水）12 時から

場 所 文部科学省 3 階講堂